

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																								
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	ISO14001を認証取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】HPリニューアル中、2023年9月に公開予定。												12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ								7.2							13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ													12.2	13	14	15					
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	2008年に定めた株式会社ニッコー「行動指針」に明記し、汚職・贈収賄の禁止に関する規定を定め、全社員が遵守している。																	16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	2008年に定めた株式会社ニッコー「行動指針」に明記し、公正な競争に努める規定を定め、全社員が遵守している。																		16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	2008年に定めた株式会社ニッコー「行動指針」に明記し、知的財産の重要性を認識し、適切な管理体制を構築し、全社員が遵守している。									8.2				9							
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	2008年に定めた株式会社ニッコー「行動指針」に明記し、プライバシーの保護、個人情報を厳重に管理する体制を構築し、全社員が遵守している。																			16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	取引先の要求に従い、当該品の調査対応し、確認している。																			16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先と必要な情報は共有を行い、必要な際は契約を締結している。					5					8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	取扱販売製品を選定する際に仕様と合わせて製品・サービスの安全性も考慮した上で、提案している。			3.9										12.4							
29	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	取扱販売製品を選定する際に仕様と合わせて品質面も考慮した上で、提案している。															9						
30	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	ISO14001の活動内で目標を掲げ、環境配慮商品の調査、取扱い、提案を積極的に行っている。							6						12	13	14	15					
31	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	生産労働人口の減少、働き方改革に寄与する自動化・省人化設備の提案を専任を設けて取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																								
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
																													
32	地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地元地域での人材採用による雇用の創出と地域イベントへの協賛、参加に努めている。				4									9		11	12			14	15			17		
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地元のイベントへの寄付、ボランティアを通じて貢献している。				4												11					14	15		17	
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地元地域で生産された製品を可能な限り使用するように努めている。															8	9		11	12	13					
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念及び経営目標は各部門の方針管理実施計画書内で明らかにし、全従業員に周知している。														8	9									17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	2008年に定めた株式会社ニッコー「行動指針」に明記し、「法令、企業倫理を遵守」を定め、誓約書の提出、社員教育を実践し、全社員が遵守している。																								16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	ISO事務局が主となり、各部門長と連携して伝達、計画の管理等の体制を構築している。																									16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	取引先との協会の会、または特約店会等を通じて、当社に対する要請事項を把握し、経営施策へ反映している。																								16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	経営会議にてリスクを特定、評価、分類し、継続的な対応が必要な場合はマネジメントシステムへ落とし込み、対応に努めている。																									16
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	グループ基本方針として、事業活動を通じて「社会性」「経済性」「環境」それぞれの面においてバランスを意識し、CSRを念頭に置いた活動に努めている。																									16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	緊急事態を想定したBCPを策定している。																	9		11					13 13.1	16
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	次期経営陣、管理職の育成を計画的に実施している。																8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものであっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）